

GUARDIAN シリーズ

# GUARDIANWALL

ガーディアンウォール

Ver 7.4

- 国内導入実績No.1<sup>\*1</sup>の電子メールフィルタリングソフト
- 強化された誤送信対策機能
- 高機能コンテンツフィルタリングと充実した配送制御機能
- 全文検索が可能なアーカイブ機能 (Advancedモデル)
- 情報セキュリティ管理を確実なものにする監査・レポート機能

# 10年連続国内シェア1位<sup>※1</sup>、2,000社以上の実績が示す 電子メール・コンテンツフィルタリングソリューションの実力。

個人情報保護法が施行され、メールアーカイブやログの取得を中心とした、「事故後対策」は急速に進みましたが、メールフィルタリングに見られるような、「事故を起こさないための対策」は、その次のステップとして必ず検討する必要があります。

特に、外部へ漏えいすることでその組織の存続が揺らぐような機密情報に関しては、メールフィルタリングによる監査が必要不可欠であり、そのルール設定においては、導入初期の設定だけでなく、組織内のポリシーの変遷に合わせてさまざまな要望に応えられる柔軟性が必要です。

## GUARDIANWALL Ver7.4 新機能ピックアップ

### 電子メール誤送信対策機能の強化

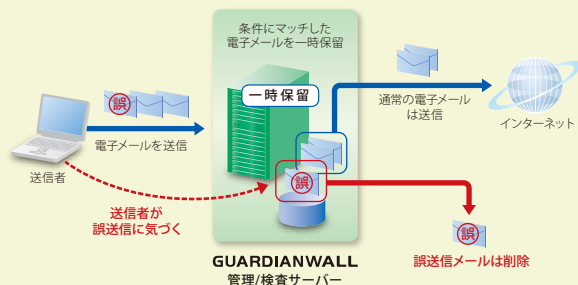
近年、電子メールからの情報漏えい原因として大きな比率を占めているのは、宛先や添付するファイルを間違えるなどの「ヒューマンエラーによる誤送信」です。しかし、この誤送信を防止するためのフィルタリングルールの運用には相応の運用コストが掛かり、電子メールからの情報漏えい対策を検討する上での大きな課題となっていました。

GUARDIANWALLでは、この誤送信対策として新たに下記の機能を追加しています。

#### ■ 電子メールの一時保留機能

送信者の「気づき」で誤送信を防止

検査・配送ルールにマッチした電子メールを一定時間保留する機能です。保留された電子メールは、保留メールを操作可能な管理者だけでなくメール送信者自身で送信/削除することが可能です。また、保留されている間に何も操作がされなかった場合は一定時間経過後に自動送信されますので、送信忘れなども防ぐことができます。



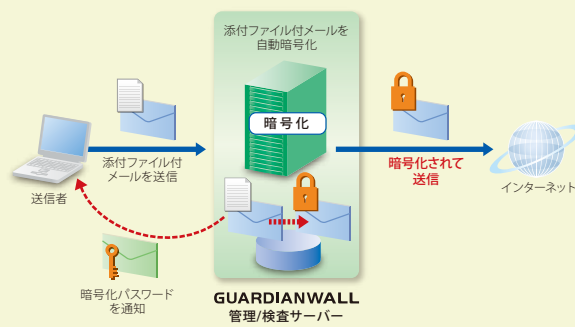
#### ● ピックアップポイント

メール誤送信が発生した場合、その多くは送信直後にその送信者自身が気づきます。そのため、電子メールの送信を一時保留し、送信者自身が誤送信に気づいて削除することができれば、多くの誤送信を未然に防ぐことができます。

#### ■ 添付ファイルの自動暗号化機能

暗号化で誤送信時の被害を軽減

外部へ送信される電子メールに添付ファイルが付加されていた場合、1つのパスワード付暗号化ファイルにまとめて送信する機能です。暗号化パスワードは、別途送信者に電子メールで通知します。



#### ● ピックアップポイント

メール誤送信が発生した場合でも、その漏えいした情報が十分な強度\*で暗号化されていれば、受信者側はその内容を見ることはできず、情報漏えいの被害を低減できます。

※オプションの「SecureZIP for GUARDIANWALL」を利用することで、強固なAES256bit暗号化をご利用いただけます。

### その他新機能

- 未処理保留メール通知機能……………一定時間を越えて保留されている電子メールが存在する場合、管理者に対して保留メールが放置されている旨を電子メールで通知する機能が搭載されました。これにより、管理者の処理忘れなどで電子メールが送信されずに停滞するといった事態を防ぎます。
- Network File System (NFS) に対応 …… 管理サーバーの保存ディレクトリーをNFSに設定して運用することが可能になりました。
  - ・対応するNFSバージョン：Ver 3 / 4
  - ・設定可能なディレクトリー：メールログ保存ディレクトリー、メールアーカイブ保存ディレクトリー、バックアップ用ディレクトリー、リストア用ディレクトリー、監査データ保存ディレクトリー
- バッチ番号の表示……………「バージョンパッチ番号の表示情報」画面にて、適用済みのパッチ番号が表示されるようになりました。

1.

発信記録・受信記録の保存と  
閲覧・検索・監査

～ 電子メール利用状況の把握 ～

企業における情報管理を強化するためには、社外とのコミュニケーションツールである電子メールの利用状況を正しく把握することが必要です。GUARDIANWALLでは、いつ、誰が、どこに、どんな電子メールを送受信していたかの情報記録が行え、電子メールそのものを保存できるので、送受信記録の検索と保存メールの本文閲覧によって、電子メールの利用状況を確認することができます。また、電子メールの本文閲覧および監査のそれぞれの証跡を記録できるため、効率的な利用状況監査が可能になります。

年月日 時刻	発信者 監査	サイズ 添付	状態
2009/06/12 09:37	中井 隆<nakoi.takahashi@example.com> Re: 貴社製品に関するお問い合わせ	1.93KB -	閲覧済み(自)
2009/06/12 09:39	黒井 和<kuroi.wakazuki@example.com> 社員名簿をお返致します。	363.99KB [7]	-
2009/06/12 09:39	坂井 京美<sakai.nami@example.com> 中継ログです。	1.06KB -	閲覧済み(自) 監査済み(自)
2009/06/12 09:40	Ioka.suzuki@xn--eckwd4c7cu47z2mf.in [M]-2022109] Re: 作業終了のご連絡	25.47KB -	-
2009/06/12 09:42	"Kuroishi Hiroshi" <HRS.HRS@example.com> 上期資料について	5.59KB -	-
2009/06/12 09:43	田中<tt@xn--eckwd4c7cu47z2mf.in> EJ川市 MAAT 合同プロジェクト 進捗報告 2006/06/11	2.30KB -	-
2009/06/12 09:45	鈴木 太郎<suzuki.taro@example.com> 会員名簿をお返致します。	264.57KB -	閲覧済み(自) 監査済み(自)
2009/06/12	小山内Kozanai@example.com>	5.42KB -	-

- 電子メールの保存
  - 発信記録 / 受信記録の保存
  - 電子メールの保存 / 本文閲覧
  - 添付ファイルダウンロード
  - 保存メールの一括ダウンロード
- 保存メールの検索 / 閲覧
  - 以下の条件による絞り込み検索が可能です。
  - 期間 (任意期間、月指定、年指定、時間範囲)
  - 発信者アドレス / グループ
  - 受信者、同報者アドレス / グループ
  - 標題
  - サイズ
  - 配送動作 (中継、中継 + 保留後送付、削除、削除 + 保留後削除、保留、全部)
  - 閲覧状態 (未閲覧、自己未閲覧、閲覧済み、自己閲覧済)
  - 監査状態 (未監査、自己未監査、監査済み、自己監査済)
- 電子メール監査

2.

コンテンツフィルタリング機能

～ ドキュメントセキュリティのルール化 ～

内部統制を強化するためには、社外に送信されるドキュメントがルールに基づいているか検査する必要があります。GUARDIANWALLは、ドキュメントに含まれるキーワードや添付ファイルのタイプ、サイズ、個数などの条件を組み合わせるルールを定義することが可能です。GUARDIANWALLのキーワード検査機能は登録キーワード数に依存しない高速な検査を実現しています。キーワードルール数が増大しても電子メールのスループットには影響しません。

行	ID	状態	キーワード式
1	27001	使用中	秘密   機密
2	27002	使用中	機密   機密
3	27003	使用中	社外秘
4	27004	使用中	取組注意
5	27005	待付中	CONFIDENTIAL
6	27006	待付中	TOP SECRET
7	27007	使用中	機密   機密   機密   機密   機密
8	27008	使用中	機密   機密

- キーワード検査
  - ヘッダー、本文、添付ファイル<sup>2</sup>にキーワードが含まれているかどうかを検査
  - 各キーワードの重み付けが可能 (2段階、10段階)
  - 各キーワードの同一電子メール中の出現回数
  - 正規表現パターン
- 添付ファイル検査
  - ファイルタイプ検査<sup>3</sup>
  - 添付ファイル形式 (MIMEタイプ)
  - 圧縮ファイル展開<sup>4</sup>
  - 添付ファイル名パターン
  - 添付ファイルサイズ
  - 添付ファイル数
- 暗号化メール検査
  - 暗号化メールの判定や、暗号化添付ファイルの判定が可能
- 個人情報検査 (特許出願中)
  - 下記の項目に該当する個人情報と考えられるデータをスコア付けし、設定したスコア以上の電子メールを保留/削除します。
  - 個人情報属性項目 (氏名、住所/郵便番号、電話番号、メールアドレス、生年月日/年齢、組織名、クレジットカード番号)

オプション  
機能

(別途費用が必要)

■ SecureZIP for GUARDIANWALL

通常のパスワード付きZIP圧縮では、強固な暗号化とは呼べません。「SecureZIP for GUARDIANWALL (別途費用が必要)」を利用することにより、AES256bit暗号化による添付ファイル送信が可能となります。(弊社推奨)

※オプションなしの場合、パスワード付きZIPファイルでの送信となります。  
※AES256bit暗号化の場合、復号・展開には対応するソフトウェアが必要です。

■ タイムスタンプサービス

せっかくのメールアーカイブも改ざんの可能性があれば、法的な証拠としての信用が揺らいでしまいます。「アマノタイムスタンプサービス3161 (別途利用契約必要)」を利用することにより、保存メールのアーカイブデータに対してデジタルタイムスタンプを付与することができます。これにより、非改ざん性を証明することができます。

■ 動作環境

● GUARDIANWALL Ver.7.4

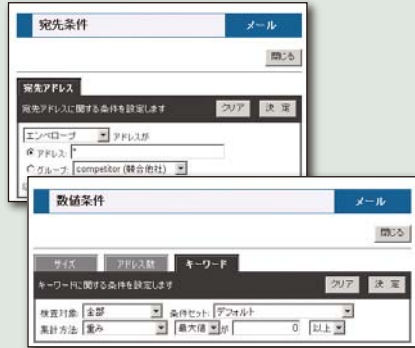
	Linux版	Solaris版
OS	Red Hat Enterprise Linux AS / ES Ver 4 Red Hat Enterprise Linux Ver 5 (Red Hat Enterprise Linux 5 Desktopには対応していません) ※あらかじめ以下のパッケージのインストールが必要です。 ed, tcl, compat-db, compat-libstdc++, mt-st	Solaris 9/10 (インテル版Solarisには対応していません)
コンピューター本体	Red Hat Enterprise Linuxが動作するIA-32 (Pentium以上)、 インテル 64プロセッサ (Itanium 2は非対応)	SUN SPARCサーバーおよび互換機
ハードディスク (最小)	GUARDIANWALLをインストールする領域として、/optに305MB以上、/varに100MB以上の空き容量が必要です。 *メール保存領域には、1つ以上の独立したディスクパーティションが必要になります。	
メモリー (最小)	1GB	
その他	sendmailが稼動するMTAに導入します。 qmailおよびPostfixのsendmail互換インターフェイスにも対応しています。	

※ Advancedモデルをご利用の場合は、管理サーバーと検査サーバーを別々にご用意いただく必要があります。管理サーバー、検査サーバーのスペックはハードウェア構成例をご覧ください。

### 3. 配送制御機能

～ 情報開示範囲のルール化 ～

電子メールの誤送信や、不用意に送信先メールアドレスを列挙することによるリストの流出事故などは、事業継続性に多大な影響を及ぼす場合があります。情報の開示先を正しくコントロールすることで、漏えい事故を防ぐことが求められています。GUARDIANWALLは、発信者、宛先、コンテンツフィルタリング結果を組み合わせて配送条件ルールを定義することが可能です。ルールに違反した電子メールは、削除または保留することで情報漏えい事故を未然に防ぎます。ルール違反の電子メールを検出すると、管理者や送信者に通知メールが送信されるので、即時対応が可能です。保留された電子メールは、管理者が確認することによって送信または削除することができます。



- 制御条件
  - ・送信元メールアドレス / グループ
  - ・宛先メールアドレス / グループ
  - ・キーワード検査結果 ・添付ファイル検査結果
  - ・暗号化メール検査結果
  - ・宛先アドレス / ドメイン数 (特定アドレス / ドメインを除外するカウントも可能)
  - ・電子メールサイズ
- 制御処理
  - ・基本処理 (中継 / 検査 / 保留 / 一時保留 / 削除)
  - ・付随処理 (管理者通知 / 送信者通知 (内部ドメインのみ) / 受信者通知 (内部ドメインのみ) / 転送)
  - ・送信先メールサーバー切替
- 保留メール処理
  - ・配送処理 (送出 / 削除 / 転送) (個別 / 一括)
  - ・電子メール本文閲覧 ・電子メール監査

### 4. 監査・レポート機能

～ システム運用・管理状況の把握 ～

環境の変化に対応するため、情報セキュリティポリシーは常に見直す必要があり、現状のルールの有効性判断が求められます。GUARDIANWALLは、電子メールの利用状況を詳細に把握するために、各種統計情報を集計する機能を備えています。電子メール利用状況の集計に加え、ルール適用状況を確認することができます。また、機密情報を取り扱うシステムには、管理者の運用状況を把握し越権行為の有無の確認ができることが必須となります。GUARDIANWALLは、管理者の各種操作を記録し、検索・閲覧する機能を備えているため、管理業務の状況把握が可能です。

- 各種統計情報 (リスト表示 / グラフ表示)
  - 以下の統計情報を集計可能です。
  - ・電子メール処理件数、処理サイズ
  - ・検査 / 配送制御ルール適用状況
  - ・MIMEタイプ検査状況
  - ・キーワード検査状況
  - ・個人情報検査状況
  - ・メールアドレス / ドメイン別利用状況
- 保存メール閲覧記録
  - 内容閲覧された保存メールと、閲覧した管理者の確認ができます。
  - 以下の条件で閲覧記録を絞り込み検索可能です。

- 期間 (任意期間、月指定、年指定、時間範囲)
- 発信者アドレス / グループ
- 受信者、同報者アドレス / グループ
- 標頭 ・ サイズ ・ 閲覧アカウント
- 保留メール操作記録
  - 保留メールの処理操作と、処理した管理者の確認ができます。
  - 以下の条件で操作記録を絞り込み検索可能です。
- 期間 (任意期間、月指定、年指定、時間範囲)
- 発信者アドレス / グループ
- 受信者、同報者アドレス / グループ
- 標頭 ・ サイズ ・ 操作アカウント
- 監査実施記録
  - 各管理者のメール監査進捗状況を確認できます。
  - 監査、閲覧、保留処理のそれぞれについて管理者ごとに実施数 / 実施率などを集計します。
- システム操作記録
  - 各管理者が行ったシステム操作を確認できます。
  - ログイン、ログアウトやルール変更、メール監査といった操作を一覧表示したり、統計レポート表示することが可能です。

### 5. システム管理機能

～ システム運用権限の設定、データ保全 ～

効率的にシステムを運用するためには、各管理者の操作権限、各種ログへのアクセス権限などを適切に設定し、管理業務を部門別単位などに委譲することが求められます。GUARDIANWALLは、管理者ごとに利用可能な機能やアクセス可能なログを限定することができます。

- 管理者権限
  - 以下の各管理権限について、「権限あり / なし」の設定が可能です。各管理者を複数名登録することもできます。
  - ・すべての権限
  - ・保存 / 保留メールの管理、検査結果の閲覧
  - ・システム管理、保存メールのバックアップ / リストア
  - ・他管理者のアカウント / 詳細権限の設定

サーバー運用面においては、各種データのバックアップ機能により、ログの長期保存や障害時の対応が可能となります。また、サーバーの複数台構成に対応しているため、導入環境の電子メール流量に応じた分散構成や、障害時に備えた冗長構成をとることが可能です。

- システム可用性
  - ・検査サーバー複数台構成 ・管理サーバー冗長化

### 6. 全文検索機能 (GUARDIANWALL Advancedモデル)

～ 保存メールの検索機能強化 ～

Advancedモデルでは通常の検索条件に加え、メール本文、添付ファイルに含まれる任意のキーワードを指定して保存メールに対する全文検索を行うことが可能です。バックグラウンドで検索を実施させることができますので、大量のデータを対象に全文検索を行う場合に便利です。

- 全文検索機能
  - ・バックグラウンド検索 ・検索終了通知メール
  - ・検索途中でのデータの閲覧
  - ・過去検索データの閲覧
- 検索条件
  - ・期間 (任意期間、月指定、年指定、時間範囲)
  - ・発信者アドレス / グループ
  - ・受信者、同報者アドレス / グループ ・ サイズ
  - ・標頭、本文、添付ファイル<sup>\*2</sup>に含まれるキーワード

### ■ ハードウェア構成例

● GUARDIANWALL (Linux版)

1日のメール流量	管理サーバー	検査サーバー	台数	マシン構成
10万通以下 Advancedモデル	クアッドコア インテル Xeon プロセッサー (5,500番台以上) 2.0GHz / 4GB メモリー	クアッドコア インテル Xeon プロセッサー (5,500番台以上) 2.0GHz / 4GB メモリー	2台	1台目: 管理サーバー 2台目: 検査サーバー

\*検査サーバー1台あたりの最大処理能力は、メール流量約10万通/日 (平均メールサイズ 50KB) を目安にしてください。 \*管理サーバー1台あたり、最大5台の検査サーバーを管理することができます。  
\*Advancedモデルの場合、検査サーバー1台ごとに管理サーバーのCPU (コア) を割り当てますと、全文検索インデックスの作成時間を短縮できます。その際、管理サーバーのメモリーは、2GB + 検査サーバー台数 × 2GB以上をご用意ください。

● GUARDIANWALL (Solaris版)

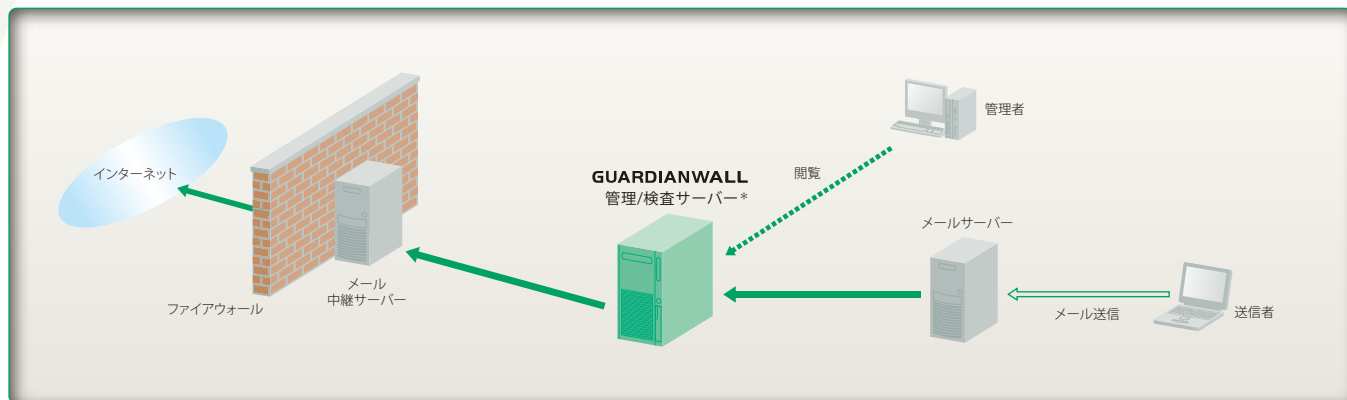
1日のメール流量	管理サーバー	検査サーバー	台数	マシン構成
3万通以下 Advancedモデル	(SUN SPARC ENTERPRISE T5120 SERVER) UltraSPARC T2 8core 1.2GHz / 6GBメモリー	(SUN SPARC ENTERPRISE T5120 SERVER) UltraSPARC T2 8core 1.2GHz / 6GBメモリー	2台	1台目: 管理サーバー 2台目: 検査サーバー

\*システム構成に関わらず、最大処理能力はメール流量約3万通/日 (平均メールサイズ 50KB) を目安にしてください。 \*CoolThreadsサーバーにおいては、十分な検査パフォーマンスが得られないことがあります。  
\*Advancedモデルの場合、管理サーバー1台 + 検査サーバー1台の2台構成のみ対応しています。 \*Standardモデルの場合、管理サーバーと検査サーバーを同一筐体導入するか、管理サーバー1台 + 検査サーバー1台の2台構成で運用することが可能です。

※上記は一例となります。  
※仮想化環境 (VMwareなど) でのご利用につきまして、弊社製品に関するお問い合わせには対応いたしますが、仮想化環境の設定方法などについてはお受けできません。また、仮想環境での動作を保障するものではありません。

## ■ GUARDIANWALLディスクサイジング例

・1台構成時 (管理サーバーと検査サーバーを同じサーバーで構成する場合)

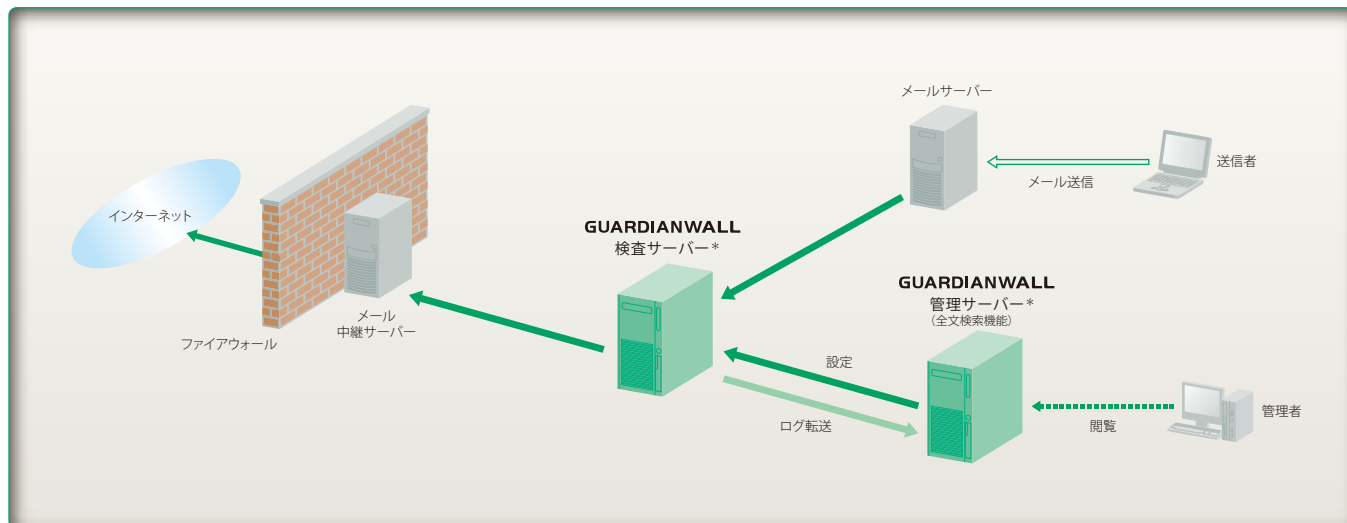


\* DMZへの設置は推奨しません。

● 想定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>メール流量: 10,000件/日</li> <li>メール本体の保存期間: 180日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均メールサイズ: 50KB/件</li> <li>バックアップされた保存メールをリストアする範囲: 30日間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ログの保存期間: 365日</li> </ul>
--------	--	---	---

ログ容量の試算例	メール流量 10,000件/日	×	ログサイズ 400B	×	ログの保存期間 365日	×	ログの種類 3 (平均)	= 4.4GB [必要なディスク容量]
メール保存領域の試算例 (全メール保存に設定した場合)	メール流量 10,000件/日	×	平均メールサイズ 50KB/件	×	メールの保存期間 180日	×	圧縮率 50%	= 45GB [必要なディスク容量]
リストア領域の試算例	メール流量 10,000件/日	×	平均メールサイズ 50KB/件	×	リストアする範囲 30日	×	圧縮率 50%	= 7.5GB [必要なディスク容量]

・2台構成時 (管理サーバーと検査サーバーを別々のサーバーで構成する場合)



\* DMZへの設置は推奨しません。

● 想定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>メール流量: 10,000件/日</li> <li>メール本体の保存期間: 180日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均メールサイズ: 50KB/件</li> <li>バックアップされた保存メールをリストアする範囲: 30日間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ログの保存期間: 365日</li> </ul>
--------	--	---	---

ログ容量の試算例	メール流量 10,000件/日	×	ログサイズ 400B	×	ログの保存期間 365日	×	ログの種類 3	= 4.4GB [必要なディスク容量]
※ログ保存ディレクトリーの初期値は、右記のとおりです。 ・管理サーバー: /var/opt/Guardian/Admin/mail ・検査サーバー: /opt/Guardian/WALL/logs								
メール保存領域の試算例 (全メール保存に設定した場合)	メール流量 10,000件/日	×	平均メールサイズ 50KB/件	×	メールの保存期間 180日	×	圧縮率 50%	= 45GB [必要なディスク容量]
※メール保存ディレクトリーは、管理サーバー/検査サーバーとも、任意のメール保存専用パーティションを指定します。								
リストア領域の試算例	メール流量 10,000件/日	×	平均メールサイズ 50KB/件	×	リストアする範囲 30日	×	圧縮率 50%	= 7.5GB [必要なディスク容量]
※リストアディレクトリーは、管理サーバーにのみ必要です。任意のリストア専用パーティションを指定します。								
一時ディレクトリーの試算例	$\left( \text{メール流量} \times \text{ログサイズ} \times \text{ログの転送対象期間} \times \text{ログの種類} \times 3 \right) + \left( \text{メール流量} \times \text{平均メールサイズ} \times \text{メールアーカイブの転送対象期間} \times \text{圧縮率} \times 3 \right)$ $= 36\text{MB} + 750\text{MB} = 786\text{MB} \text{ [必要なディスク容量]}$							
※一時ディレクトリーは、ログ・アーカイブ転送用に一時的に使用する領域で、/opt/Guardian/Admin/tmp になります。管理サーバー/検査サーバーのどちらにも同等の容量が必要です。								

※全文検索機能を利用する場合、メール保存ディレクトリーは、メール保存領域の試算例で試算した値の3倍の容量を用意します。(全文検索インデックスはメール保存ディレクトリーに格納されるため)  
 さらに、インデックス構築作業ディレクトリーとして、1日分のメール本体(メールアーカイブ)の4倍の空き容量を常に確保可能な領域を用意します。  
 (必ずしもインデックス構築専用のパーティションを用意する必要はありませんが、メール保存ディレクトリーやリストアディレクトリーと同じパーティションには設定しないでください)  
 ※保存メールの一括ダウンロード、全文検索インデックスファイルのバックアップなどのご利用状況に応じてディスク容量の追加が必要です。  
 ※1KB = 1,000Bで試算しています。

## 製品価格

GUARDIANWALL サブスクリプションモデル	
ユーザー数	年間利用料金(税別) (契約期間1年)
50	¥ 624,000
100	¥ 720,000
250	¥ 864,000
500	¥ 1,008,000
1,000	¥ 1,248,000
1,500	¥ 1,488,000
2,000	¥ 1,728,000
2,500	¥ 1,968,000
3,000	¥ 2,124,000
4,000	¥ 2,448,000
5,000	¥ 2,772,000
5,001 以上	お問い合わせください

	GUARDIANWALL Standard モデル		GUARDIANWALL Advanced モデル	
	ユーザー数	希望小売価格(税別)	年間保守料金(税別)	希望小売価格(税別)
50	¥ 960,000	¥ 144,000	¥ 1,300,000	¥ 180,000
100	¥ 1,100,000	¥ 165,000	¥ 1,500,000	¥ 210,000
250	¥ 1,400,000	¥ 210,000	¥ 1,800,000	¥ 255,000
500	¥ 1,600,000	¥ 240,000	¥ 2,100,000	¥ 300,000
1,000	¥ 1,950,000	¥ 292,500	¥ 2,600,000	¥ 375,000
1,500	¥ 2,340,000	¥ 351,000	¥ 3,100,000	¥ 450,000
2,000	¥ 2,730,000	¥ 409,500	¥ 3,600,000	¥ 525,000
2,500	¥ 3,120,000	¥ 468,000	¥ 4,100,000	¥ 600,000
無制限	¥ 3,900,000	¥ 585,000	¥ 5,100,000	¥ 750,000

- Standardモデルには、全文検索機能が付属しません。全文検索機能を利用する場合には、Advancedモデルをご購入ください。
- サブスクリプションモデルでは、年間利用料金のみでAdvancedモデルと同等の機能をご利用いただけます。

### <年間保守>

- 上記年間保守料金には、保守期間中のバージョンアップ媒体送付ならびに電話・E-mailによるユーザーサポートが含まれます。(年間保守料金は初年度から必要です。)
- サブスクリプションモデルの年間利用料金には、上記保守内容が含まれます。

### <追加ライセンス>

- 製品ライセンスは、管理サーバー1台と検査サーバー1台に導入いただけます。2台以上の検査サーバーに導入する場合には、製品ライセンスとは別に、追加サーバーライセンスが必要です。
- 2台目の価格は、上記希望小売価格の50%です。(年間保守料金は2台分必要です。)
- 3台目以上の価格は弊社までお問い合わせください。
- コールドスタンバイライセンスは、上記希望小売価格の20%です。この場合の年間保守料金は必要ありません。
- サブスクリプションモデルでは、サーバー台数に関係なくご利用いただけます。

### <仮想環境>

- 仮想環境上で使用する際のライセンス数は、GUARDIANWALLがインストールされたゲストOS数でカウントします。物理サーバー数には依存しません。
- ゲストOSが電源OFF、または格納されている物理サーバーが電源OFFの場合は、コールドスタンバイライセンスをご購入いただけます。

## オプション価格

SecureZIP for GUARDIANWALL		
ライセンス数	希望小売価格(税別)	年間保守料金(税別)
1	¥ 378,000	¥ 75,600
2	¥ 756,000	¥ 151,200
3	¥ 1,071,000	¥ 214,200
4	¥ 1,386,000	¥ 277,200
5	¥ 1,701,000	¥ 340,200
6	¥ 2,016,000	¥ 403,200
7	¥ 2,331,000	¥ 466,200
8	¥ 2,646,000	¥ 529,200

- インストールされた検査サーバーの合計CPU数、コア数により価格が変わります。
- 1ライセンスあたり、2コアまでのCPUにご利用いただけます。(クアッドコア CPUの場合は、1CPUあたり2ライセンス必要になります。)
- 仮想環境でのご利用の場合は、割り当てられているCPU数の合計数分のライセンスが必要となります。

GUARDIANWALL タイムスタンプサービス	
サーバー台数	年間利用料金(税別)
1	¥ 394,000
2	¥ 538,000
3	¥ 682,000
4	¥ 826,000

- 上記利用料は、GUARDIANWALLの検査サーバー単位での年間利用料金です。
- GUARDIANWALLご発注の際、同時にお申し込みいただく必要があります。
- 5台以上の環境でご利用の場合は、別途お問い合わせください。



Web利用からの情報漏えい対策ソリューション

## WEBGUARDIAN

ウェブガーディアン

情報発信ツールとしてのWeb利用が進むに伴い、企業におけるセキュリティ上の脅威も増大・高度化しています。「WEBGUARDIAN」は、URLフィルタリングによるアクセス先制限機能に加え、送信データ(Webメール/メッセージャー/掲示板/オンラインストレージ/SNSなど)のコンテンツフィルタリング機能とアーカイブ機能も備えたWebセキュリティ管理ソフトです。



電子メール誤送信対策システム

## GUARDIAN CorrectMail

ガーディアン コレクトメール

電子メールを送信した後に、「宛先を間違えた」、「添付ファイルを付け間違えた」などの「しまった」を経験したことはありませんか? 「GUARDIAN CorrectMail」は、そんな電子メールの「しまった」を取り戻す『電子メール誤送信対策システム』です。査閲とルールによるフィルタリング機能により、管理者の運用負荷を抑えつつ、電子メールの誤送信対策を低コストで実現します。

※1: 株式会社富士キメラ総研 2011 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧より  
 ※2: キーワード検索が可能な添付ファイルは、Microsoft Word 6.0/7.0(95)/97/98/2000/2001(Mac)/2002(XP)/2003/2007、Microsoft Excel 4.0/5.0/7.0(95)/97/2000/2001(Mac)/2002(XP)/2003/2007、Microsoft PowerPoint 95/97/2000/2001(Mac)/2002(XP)/2003/2007、一太郎 7/8/9/10/11/12/13/Lite/2004/2005/2006/2007、PDF 1.2/1.3/1.4/1.5/1.6/1.7(Acrobat 3.0/4.0/5.0/6.0/7.0/8.0/9.0)です。Office 2003のIRM(Information Rights Management)機能にて制限をかけられたファイルについては検査対象外となります。全文検索機能では、Microsoft Word 6.0、Microsoft Excel 4.0/5.0には対応していません。  
 ※3: 対応するファイルタイプはZIP、LHA、RAR、CAB、GZIP、BZIP2、Z、TAR、TEXT、PDF、XLS、DOC、PPT、JTD、HTML、XML、RTF、VSD、EXE、7ZIP、ARJ、RPM、DEB、ISO、MSI、HQX、AS、TNEF、SZDD、PACKです。  
 ※4: 対応する圧縮形式はZIP、LHA、RAR、CAB、GZIP、BZIP2、Z、TAR、7ZIP、ARJ、RPM、DEB、ISO、MSI、HQX、AS、TNEF、SZDD、PACKです。

Microsoft、Windows、Excel、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。

販売元/



キヤノン IT ソリューションズ株式会社

セキュリティソリューション事業部

<http://canon-its.jp/>

〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11

TEL: 03-6701-3434 FAX: 03-6701-3471